

2027年3月期 第2四半期(中間期)

(2026年4月1日 ～ 2026年9月30日)

決算補足資料

2026年11月9日

ENOMOTO Co.,Ltd.

東証スタンダード　証券コード:6928

© ENOMOTO

目次

2027年3月期第2四半期(中間期)決算 …… P.03

2027年3月期業績予想 …… P.09

(1)2027年3月期第2四半期(中間期)決算

株式会社エノモト

業績報告（前年同期比）

ENOMOTO Co.,Ltd.

- 第2四半期累計は売上高・各段階利益とも過去最高。売上高は原材料価格の上昇に伴う価格転嫁や円安が影響し大幅な増収
- パワー半導体用リードフレームの車載向け、オプト用リードフレームのハイエンドLED向けを中心に増収。コネクタ用部品のスマートフォンの新規モデル向けも堅調に推移
- 利益面では、増収効果に加え、工場稼働率の上昇と製品ミックスの改善、メッキの内製化により収益力が向上

単位：百万円	2025/3期 2Q累計		2026/3期 2Q累計（前中間）		2027/3期 2Q累計（当中間）		期比較
	実績	売上比（%）	実績	売上比（%）	実績	売上比（%）	前期比（%）
売上高	13,419	100.0	14,652	100.0	18,462	100.0	+26.0
売上総利益	1,651	12.3	2,010	13.7	2,932	15.9	+45.8
販管費	1,293	9.6	1,280	8.7	1,412	7.7	+10.3
営業利益	358	2.7	729	5.0	1,519	8.2	+108.1
為替差損益	△56	-	13	-	△25	-	-
経常利益	364	2.7	811	5.5	1, 527	8.3	+88.3
当期純利益	270	2.0	588	4.0	1, 130	6.1	+92.1
1株当たり純利益	40.45円	-	92.21円		172.07円		
1株当たり中間配当金	35.0円		35.0円		40.0円		

四半期別業績報告（第2四半期）

ENOMOTO Co.,Ltd.

- 当期1Qに引き続き、2Qも売上高・利益とも過去最高
- 当期1Q比では建値変動の影響は軽微であり、実質的な出荷数量の増加を背景に好調に推移

単位：百万円	2026/3期					2027/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	前同比(%)	1Q比(%)
売上高	7,146	7,505	7,758	8,004	30,415	8,723	9,739	+29.8	+11.6
売上総利益	940	1,069	1,242	1,293	4,546	1,404	1,527	+42.8	+8.8
販管費	629	651	677	938	2,896	688	724	+11.2	+5.2
営業利益	311	418	565	355	1,650	715	803	+92.0	+12.3
為替差損益	12	0	5	△17	1	△3	△21	-	-
経常利益	336	474	579	375	1,766	706	821	+73.1	+16.4
四半期純利益	263	325	390	252	1,231	514	616	+89.3	+19.8

製品群別四半期売上高（第2四半期）

ENOMOTO Co.,Ltd.

- パワー半導体用リードフレームは車載向けが好調、民生・産機向けはデータセンター・AI向けが牽引
- オプト用リードフレームではハイエンドLED向けが民生の量産本格化に続き、車載も量産開始となり、増収トレンド継続
- コネクタ用部品はスマートフォンの新規モデル向け出荷が継続し堅調、車載向けとともに増収

単位：百万円	2026/3期					2027/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	前同比(%)	1Q比(%)
パワー半導体用リードフレーム	2,615	2,535	2,526	2,474	10,152	2,585	3,432	+35.4	+32.8
オプト用リードフレーム	1,108	1,205	1,226	1,649	5,190	1,746	1,885	+56.5	+8.0
コネクタ用部品	3,264	3,621	3,832	3,693	14,411	4,241	4,283	+18.3	+1.0
その他	158	142	173	186	661	149	136	△4.4	△8.5
合計	7,146	7,505	7,758	8,004	30,415	8,723	9,739	+29.8	+11.6

経常利益増減要因(第2四半期累計)

ENOMOTO Co.,Ltd.

増減収効果

パワー半導体用リードフレームの
車載向け、オプト用リードフレームの
ハイエンドLED向けを中心に増収

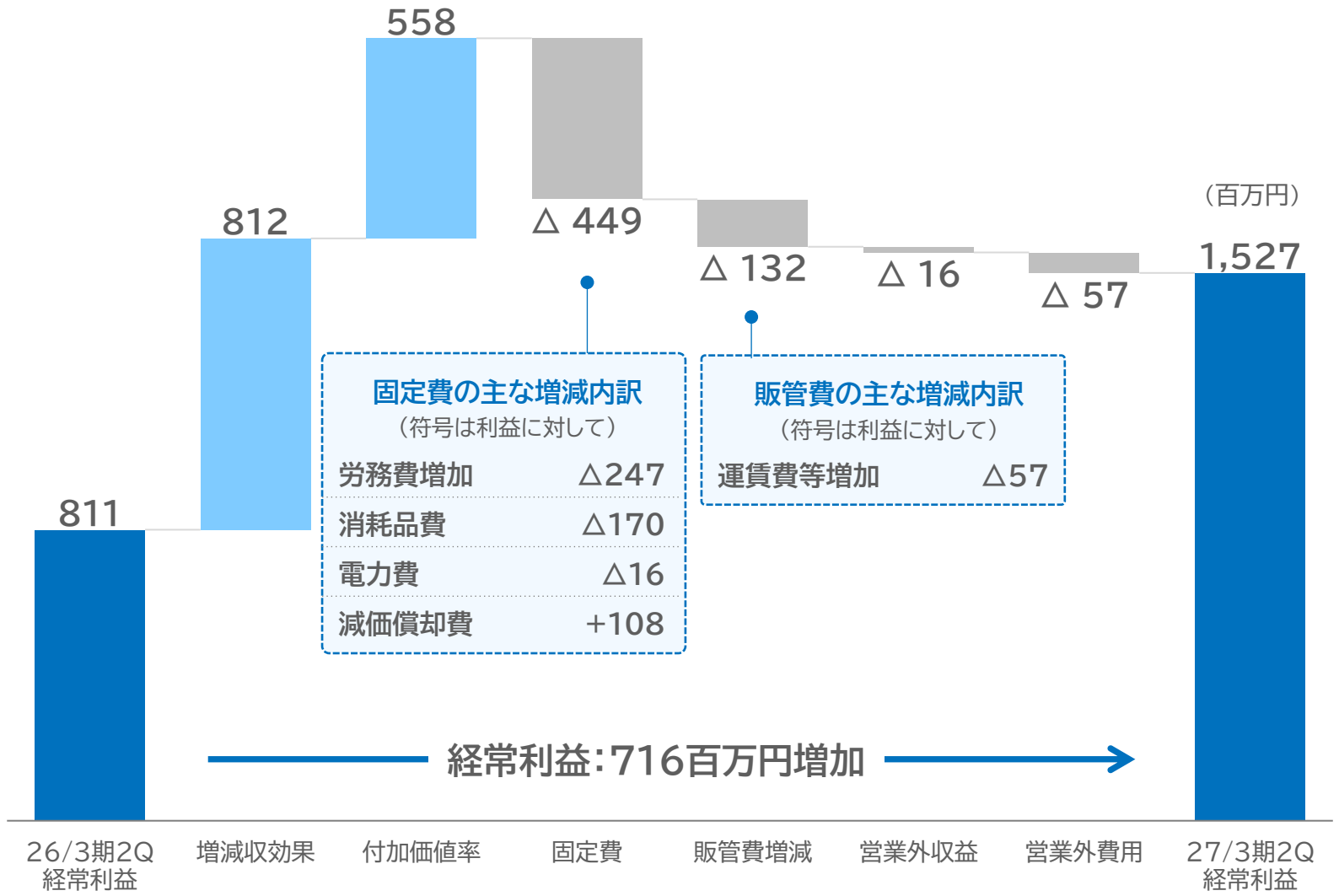
付加価値率

①メッキの内製化による、
　付加価値の取り込み

②オプト用リードフレームの
　ハイエンド品の増加

固定費・販管費

生産高増加に伴う労務費
及び運賃搬送費・荷造費増加



用途別量産品売上構成比（第2四半期累計）

ENOMOTO Co.,Ltd.

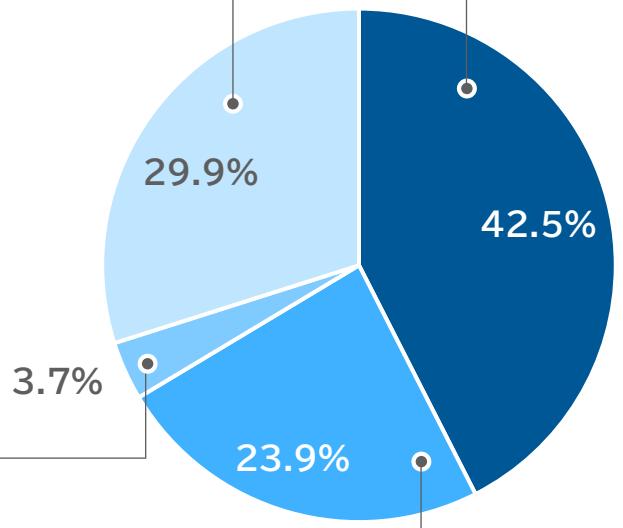
- 車載はオプト用リードフレームがハイエンド品の量産開始で伸長。パワー半導体用リードフレーム、エアバッグ向けコネクタは共に好調
- スマートフォンは新規モデル向けの出荷が継続しており堅調。ウェアラブルは新製品向けの受注が堅調、出荷に向けて準備
- 民生・産機・その他はオプト用リードフレームのハイエンド品が堅調。データセンター向けパワー半導体用リードフレームが牽引

民生・産機・その他

- 構成比は前年同期の27.5%から2.4pt増加
  前年同期比34.4%増加
- オプト用リードフレームはハイエンド品が大幅増
- データセンター向けパワー半導体用
  リードフレームが牽引

車載

- 構成比は前年同期の42.3%から0.2pt増加
  前年同期比24.1%増加
- オプト用リードフレームの車載向けが伸長
- xEV向けパワー半導体用リードフレーム、
  エアバッグ向けコネクタ等は共に好調



ウェアラブル

- 構成比は前年同期の5.0%から1.3pt減少
  前年同期比8.6%減少
- 新製品に向けた金型製作は堅調であり、量産に
  向けた仕込みの期間

スマートフォン

- 構成比は前年同期の25.3%から1.4pt減少
  前年同期比16.9%増加
- スマートフォン向けコネクタ部品の新規モデル向け
  が出荷継続しており、堅調に推移

(2)2027年3月期業績予想

株式会社エノモト

業績予想

ENOMOTO Co.,Ltd.

- 8月時点の上方修正予想を継続。営業利益は中期経営計画の目標値である24億円、最高益を目指す
- パワー半導体用はサーバー向けが牽引、オプト用はハイエンド品の量産立上が順調、コネクタはスマートフォン向けが上振れ
- 利益面では増収に加え、メッキ内製化による付加価値の取り込みや、工程改善等による収益力向上が業績に寄与

単位:百万円	2026/3期		2027/3期				
			期初予想(5月時点)		今回予想(8月修正)		
	実績	売上比(%)	予想	売上比(%)	予想	売上比(%)	前期比(%)
売上高	30,415	100.0	32,000	100.0	34,000	100.0	+11.8
売上総利益	4,546	14.9	4,700	14.7	5,200	15.3	+14.4
販管費	2,896	9.5	2,700	8.4	2,800	8.2	△3.3
営業利益	1,650	5.4	2,000	6.3	2,400	7.1	+45.4
経常利益	1,766	5.8	2,000	6.3	2,400	7.1	+35.8
当期純利益	1,231	4.0	1,400	4.4	1,750	5.1	+42.1
1株当たり当期純利益	191.21円	-	217.38円	-	267.20円	-	-
配当金	75.0円	-	77.0円	-	80.0円	-	-

製品群別売上高予想

ENOMOTO Co.,Ltd.

- パワー半導体向けリードフレームは車載向けの回復に加え、サーバー向けが牽引。下期はやや慎重な計画
- オプト用リードフレームはハイエンド品が車載向けを中心に順調に量産立ち上げ、四半期毎に着実な成長が続く
- コネクタ用部品はスマートフォン向けなどの需要が期初予想を上回り、高い水準で推移

単位:百万円	2026/3期		2027/3期				
			期初計画(5月時点)		今回予想(8月修正)		
	実績	構成比(%)	予想	構成比(%)	予想	構成比(%)	前期比(%)
パワー半導体用 リードフレーム	10,152	33.4	10,000	31.3	11,000	32.4	+8.4
オプト用 リードフレーム	5,190	17.0	7,000	21.9	7,000	20.6	+34.9
コネクタ用部品	14,411	47.4	14,500	45.3	15,500	45.6	+7.6
その他	661	2.2	500	1.5	500	1.5	△24.4
合計	30,415	100.0	32,000	100.0	34,000	100.0	+11.8

設備投資・減価償却費

- 設備投資は、好調なコネクタ用部品やオプト向けを中心に、来期以降の生産能力増強に向けて上方修正
- 減価償却費は自社金型の償却費減少を主因に、通期予想としては前期比で減少を見込む
- なお2Q累計の設備投資は1,097百万円、減価償却費は1,063百万円

単位:百万円	2024/3期	2025/3期	2026/3期	2027/3期		
	実績	実績	実績	期初予想	修正予想	前期比増減
設備投資	**1,809**	**1,707**	**1,830**	**2,129**	**2,611**	+781
パワー半導体用リードフレーム	500	477	297	563	543	+246
オプト用リードフレーム	278	112	247	300	371	+123
コネクタ用部品	848	972	1,250	1,209	1,495	+245
その他(調整等)	182	145	34	56	200	+165
減価償却費	**1,885**	**2,182**	**2,149**	**1,980**	**1,844**	△304

株主還元

- 2023年5月に配当方針をDOE2.5%以上に変更
- 27年3月期は売上高・営業利益を8月に上方修正、配当も中期経営計画目標の77円から80円に増配しており、これを継続
- 業績は24年3月期をボトムに回復、資本効率向上によるROEの引上げと、株主還元の一層の強化のため、50万株を上限に自己株取得を決定

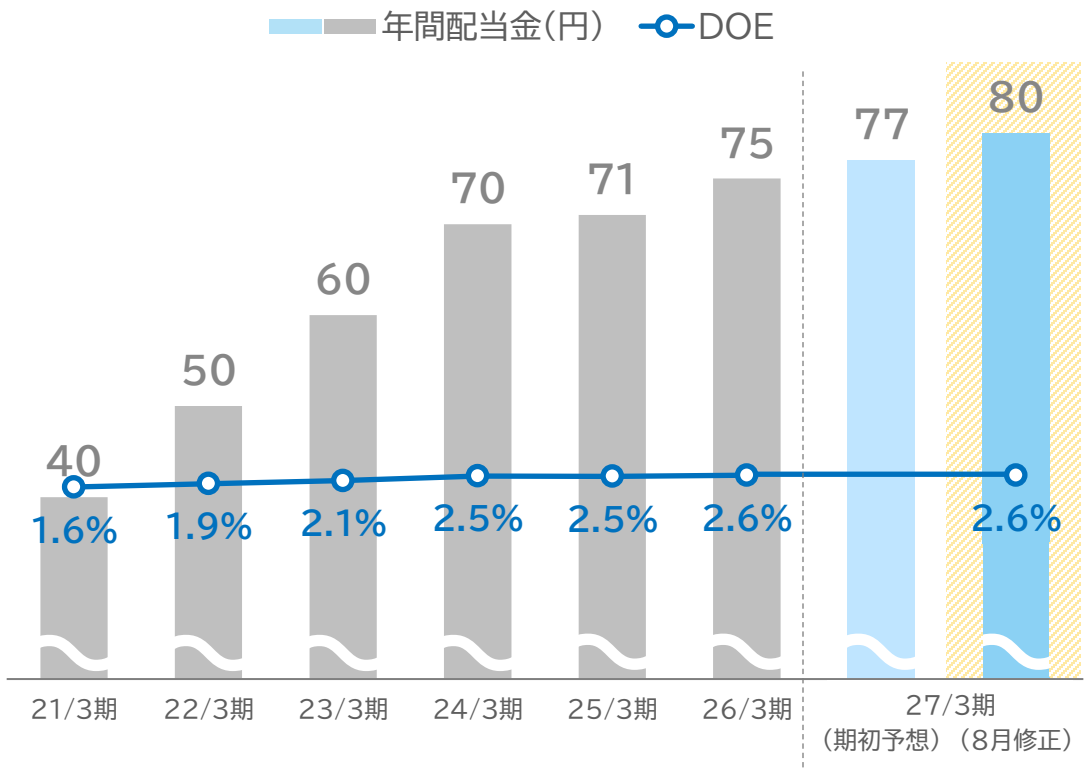
2024年3月期以降の配当方針

- DOE2.5%以上を配当の数値基準とする
- 中期経営計画「2nd STEP」でも、最適な自己資本水準や短期的な利益増加の反映方法を総合的に勘案しつつ、増配トレンドを継続する
- 2027年3月期は80円配当を予定
  （DOE2.5%　DOE（自己資本配当率）＝　年間配当額 / 株主資本）

自己株式取得を決定

- 取得総数：50万株（上限）、取得価額：16億円（上限）
- 期間：2026年8月12日から27年5月31日
- 目的：資本効率向上と株主還元強化
- 2026年10月末：24.2万株取得済み

配当金・DOEの推移



ENOMOTO Co.,Ltd.

注意事項

事業の展望、業績予想等の将来の動向にかかる記載につきましては、歴史的事実ではないため、不確定な要素を含んでおります。

現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があることをご了承願います。